



ゆうすい NEWS No. 71



令和4年 2022.5.19 発行

左の題字
大岡 信
(詩人・)
三島ゆうすい会
元名誉顧問)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0856 静岡県三島市広小路町 12-5
TEL&Fax 055-975-6516 E-mail river@yusui.org
URL <http://www.yusui.org/> ※事務局員は常駐しません。
E-mail や Fax で、ご連絡いただくと助かります。

令和4(2022)年度・第31回三島ゆうすい会総会開催



3月5日(土)の15:00に、関係者はVia701へ集合し総会の準備。16:00から総会開始。まず、大村洋子会長が挨拶に立ち、塚田冷子名誉会長のご逝去を悼み、30周年記念誌完成にふれ、昨年度や今年度の取り組みについて語りました。

今回は来賓全員からのご挨拶。未だコロナ禍なので、会場では皆マスク姿でした。豊岡武士三島市長、川原章寛三島市議会議員、宮沢正美静岡県議会議員、伊丹雅治静岡県議会議員、宮崎眞行三島市観光会専務理事、西川達也三島市産業文化部長の順で6名でした。それぞれ、会へのエールを込めたお話をありがとうございました。

次に、議長に岩田重理理事が選ばれ、議事録作成人に青木利治副会長、議事録署名人に宇水勉理事と柴原俊介理事を指名し議事に入りました。事業報告と事業計画は西川勝美事務局長、決算報告と予算案は福田淑子理事、監査報告は大庭治美監事、会則および役員・組織に関する件は青木利治副会長が担当し、第1号議案から第7号議案まで、賛成多数で承認されました。

受付は大庭治美監事、宇水勉理事、福田淑子理事、佐藤久美子運営委員で、年会費徴収、資料配布。司会是小松幸子副会長。



▼会場の片づけ等で残ってくださった方々(敬称略)

後列左より：福田淑子、大庭治美、大村皖伸、石井真人、遠藤桂司、柴原俊介、秋山峰治、窪田紀子、佐藤久美子、杉山美智子、宇水 勉
前列左より：青木利治、岩田重理、西川勝美、大村洋子、小松幸子、山崎芳子、緒明春雄、門倉京子

令和4(2022)年度・三島ゆうすい会・役員名簿

会 長	大村洋子		
副 会 長	小松幸子	青木利治	
事務局長	西川勝美		
理 事	岩田重理	水野幾子	柴原俊介
	宇水 勉	松根典子	石井真人
	山崎芳子	福田淑子	大村皖伸
監 事	大庭治美		
相 談 役	秋山峰治		
運営委員	福場正視	庄司峯子	山梨一正
	越沼 正	米山友子	坂井良重
	佐藤久美子	鈴木千重子	小浜修一郎
顧 問	緒明春雄	山岡修一	小野 徹
	落合義朗	渡辺妙子	志村 肇
		渡辺豊博	
専 門 家	渡辺佐一郎 石井真人		
名誉顧問	富士真奈美(女優) 吉行和子(女優)		
	藤田弓子(女優)		



17:00~18:15は、常葉大学非常勤講師の加須屋真先生による演題「自然と人とのかかわり」の講演会の予定でしたが、諸事情で先生が参加できなくなりました。それで、加須屋先生作成のパワーポイントと資料を示し、大村皖伸理事が参加者に内容を伝えました。(P2につづく)

▼講演会講師の予定だった
加須屋 真先生 (常葉大学社
会環境学部非常勤講師)



加須屋先生が準備してくださった映像は 90枚以上 (左は最初の映像) で、配布資料はA4全5ページ。「人間も生態系の中の一員」「見えないところで様々な生物や環境と関わりあい、それらのつながりの中で生活しています」と

始まりました。「ミツバチやハナバチの仲間は蜜を求め、送粉 (花粉を運んで受粉を行う) するが、昆虫や鳥による送粉も重要。日本国内の昆虫による農作物 (果樹) の送粉は、金額にすると年間 4,700 億円越え。チョウやハチ以外にアリ、ハエ、ガ等の昆虫が送粉に役立っていることも…」興味深い話が美しい映像とともに進みます。次に、人が自然に対して行ってきたことは、狩猟のための森の伐採、農耕のための焼き畑、湿地や氾濫原を水田に活用、雑木林を薪炭林 (しんたんりん) に。この後、種々の樹木と生き物との関係が紹介されます。しかし 1960 年代の高度経済成長期にエネルギーが変換され薪や炭の時代が過ぎると、林が放置され、多様な植生が消失し、生物全体の多様性が著しく低下することになります。



日本の草地・草原の現状

- ★ 自然草原は寒冷な気候、乾燥・少ない降水量
温帯では年間降水量300~400mm超で森林に遷移
- ★ 約100年前まで堆肥・牛馬の飼料、茅葺き屋根などに利用
人にとって重要な環境 国土面積の約10%以上
- ★ 肥・飼料、放牧、茅葺き屋根など人の利用により維持
半自然草原
- ★ 近代化により草地の役割が消失→管理放棄
現在では → 国土面積の約1%に減少
- ★ 植林により人工林に 放置により森林に遷移
- ★ 草原に依存する多くの生物が絶滅の危機に

また、人の利用で成立維持されてきた里山環境の「草原」の現状は左画面のとおり。多くの生き物が絶滅の危機にあるそうです。ただ、草刈りや野焼きなど人の手が程よく入った草原では、豊かな花々や貴重な生き物が見られるそうで、全国各地の取り組みを紹介。保全活動の成功例は、岡山県新見市のウスイロヒョウモンモドキの生息地だそうです。県内では掛川市東山地区の茶草場農法が好例で、カケガワフキバツタを紹介。

最後に、「多くの生き物が生息するためには、自然に対して適度な働きかけをすること。競争に強い生き物を適度に抑えることで、競争に強くない生き物が共存できる。いろいろなタイプの自然環境があることで、それぞれの環境に合う生き物が生息できる。外来生物の駆除や増えすぎた植物の刈り取りなど、適度な人の関わりが必要」と、まとめられました。

三島ゆうすい会 独自調査も継続 「身近な水環境の水質調査」

4月3日(日)、小雨の中、8:30に願兵衛川上流のいずみ橋に集合し、街中班(大村洋子、小松幸子、青木利治、福田淑子、大村皖伸)、大場川班(岩田重理、西川勝美、宇水 勉、柴原俊介)に分かれて水質調査に出掛けました。出発に先立ち、スマートパックテストの事前準備をしましたが、意外に時間をとり、後日、理事会で行うことにしました。当初、今回の水質調査は2月20日(日)に予定されていましたが、雨天のためこの日に延期されました。大場川班の運転担当: 岩田重理

調査時間は、街中班(4カ所)、大場川班(3カ所) 9:15~11:10でした。

調査内容			◆COD (化学的酸素要求量) の測定 (mg/L)			◆NO ₃ ⁻ (硝酸態窒素) の測定 (mg/L)			◆PO ₄ ⁻³ (リン酸) の測定 (mg/L)		
調査地点	現地気温	現地水温	第1回測定値	第2回測定値	第3回測定値	第1回測定値	第2回測定値	第3回測定値	第1回測定値	第2回測定値	第3回測定値
源兵衛川芝橋付近	10.0℃	15.3℃	1	2	6	0.2	0.3	0.5	0.1	0.1	0.1
源兵衛川かわせみ橋付近	9.3℃	15.3℃	2	3	8	0.3	0.3	0.3	0	0	0
御殿川通学橋付近	10.7℃	15.3℃	1	1	5	0.5	0.3	0.5	0	0	0
桜川の「じゅらくはし」付近	9.1℃	13.9℃	1	7	8	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5	0.5
大場川青木橋の少し下流	10.0℃	14.0℃	5	6	3	1	2	1	0.2	0	0
大場川神川橋下	10.0℃	14.0℃	1	1	1	1	0.7	0.7	0.1	0.1	0.1
大場川と山田川の合流付近	9.0℃	12.0℃	0	0	0	0.5	1	0.5	0.2	0.2	0.2



▲源兵衛川でカルガモ ▲御殿川で頬の白いハクセキレイ ▲桜川の岸辺のスミレ



源兵衛川沿いでは桜が、御殿川沿いではミモザアカシアの黄色い花（右下）が満開。各所で春を感じました。

▲水の苑緑地の源兵衛川で調査



▲御殿川での水質調査

【大村皖伸理事より】
雨が降っていたからでしょうか、水質調査で特にCODの値が悪いですね、通常ではこんな値は出ていません。やっぱり雨は避けた方がいいですね。



【宇水勉理事より】
今回の測定結果から街中のCODに高い値がでてます。8ppmは何らかの溶存物があったと思われます。影響しているものが何かよく観察する必要があります。
大場川は、いつも青木橋下が下流より数値の高



▲青木橋地点。前回(10月)よりやや濁りが見られた。雨が降り始めた。



▲神川橋下。小雨模様だったが、CODは良い値だった。



▲山田川との合流点。雨のため屋根のあるベンチで測定。

いことが多く、原因は良くわかりません。硝酸態窒素、リン酸態リンは、ばらつきの範囲だと考えます。水温は地表の影響で、大場川は約6度程度下がっています。今後も調査を続けていくことで、水の変化が理解できると考えます。

『三島ゆうすい会 30周年記念誌』 ついに完成!



『三島ゆうすい会 30周年記念誌』(146ページ)がついに完成し430部発行しました。関係者に配布・郵送するとともに、三島市に20冊贈呈のため3月24日、大村洋子会長、



小松幸子副会長、西川勝美事務局長が、豊岡武士三島市長を表敬訪問しました。市長からは、御礼の言葉と市の『環境報告書』をいただきました。

記念誌の巻頭詩には、詩人で三島ゆうすい会元名誉顧問・三島の名誉市民でもある大岡信さんの「故郷の水へのメッセージ」を掲載。カラーページには、大村洋子会長の挨拶、10年間の活動アルバムと、『三島ゆうすいマップ2020』等を掲載。次に、祝辞14名・名誉顧問2名・専門家11名・顧問・賛助会員等16名・会員18名の原稿、行事参加者の感想文等が続き、「七草のつどい」で紹介するわらべ唄や『水よ輝け』の歌、10年間の活動記録、ゆうすいNEWS(39号~70号の縮刷版・実寸版)をモノクロで掲載。編集は三島ゆうすい会理事会メンバーを中心に行い、原稿の依頼や原稿打ち等は、大村洋子会長、レイアウトや原稿打ち、表紙・裏表紙のデザイン等は小松幸子副会長、印刷会社提出のアバナス変換等は西川勝美事務局長が行いました。多くの方々のご協力に対し深謝します。

予告 **第19回「身近な水環境の全国一斉調査」に協力**

6月5日(日)の8:30に、源兵衛川上流の「いずみ橋」付近に集合して、街中班(源兵衛川、御殿川、桜川)、大場川班の2グループに分かれ、COD、硝酸態窒素等の水質調査を行います。午前中に終了。一緒に体験しませんか? 参加ご希望の方は、三島ゆうすい会事務局(☎055-975-6516)へお問い合わせください。

「宮さんの川景観維持協議会」に出席



4月22日(金)、「宮さんの川景観維持協議会」に、大村洋子会長と大村皖伸理事が参加しました。事前の4月20日(水)には、ピコピカが水路を塞いでいることはないということを確認しました。今後も、貴重な小水力発電のピコピカの価値を、多くの方々に知ってほしいと思います。

予告 **三島市民活動フェスティバル パネル展示で活動紹介**

例年、三島ゆうすい会では、三島市民活動フェスティバルに、前年の活動紹介パネルをカラー版でA1サイズに拡大したものを、展示し参加しています。

展示場所と展示期間は、下記のとおりです。
 ★三島市役所ロビー
 6月9日(木)～6月16日(木)
 ★三島市民活動センター 4階
 6月16日(木)～6月30日(木)
 ご都合のよい会場で、ご覧ください。

30周年記念誌関連の取材などに対応

大村洋子会長は、3月10日(木)に東急ロイヤルクラブよりPR誌『Fino』の取材を受け、4月8日(金)には静岡新聞から30周年記念誌贈呈の件で取材を受けました。

また、浜松市で佐鳴湖をきれいにする運動をされている男性からFAXで三島ゆうすい会の活動に学びたいとの問い合わせがあり、30周年記念誌を送るなど丁寧に対応しました。

三島ゆうすい会のホームページ

「三島ゆうすい会」のホームページは、随時更新中です。「ゆうすい NEWS」もカラー版で見ることができ、以前のもも閲覧できます。下記のいずれかで、ご覧ください。

URL : <http://www.yusui.org/>
<https://mishimayusuikai.web.fc2.com>

定例活動のお知らせ



★自由参加
 ★雨天中止

宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」と共に、清掃します。

「三島梅花藻の里」でミシマバイカモ保全活動

- ・原則 毎月第2日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、草取り道具等

源兵衛川の清掃

- ・原則 毎月第2日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」と共に、清掃します。



源兵衛川の第2、第3ゾーンと宮さんの川からヒロセパークまでの鎌倉古道の清掃活動

- ・原則 毎週土・日曜日の朝 6:00～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川のいずみ橋から広瀬橋までゴミ拾いなど

- ・原則 毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

桜川の清掃

- ・原則 毎月第1土曜日 9:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」と共に、清掃します。



御 礼
 阪野 光夫 様 市川 弘子 様
 ご寄付をいただきまして、誠にありがとうございました。

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ★正会費 3,000 円
- ★賛助会費 1口 10,000 円 (何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

- ・郵便振替 00840-4-118192
 加入者名：三島ゆうすい会
- ・静岡銀行三島支店
 普通預金 No.0346532
 口座名：三島ゆうすい会
 会長 大村洋子
- ・スルガ銀行三島セントラル支店
 普通預金 No.572969
 口座名：三島ゆうすい会
 会長 大村洋子
- ・三島信用金庫西支店
 普通預金 No.1042399
 口座名：三島ゆうすい会
 会長 大村洋子